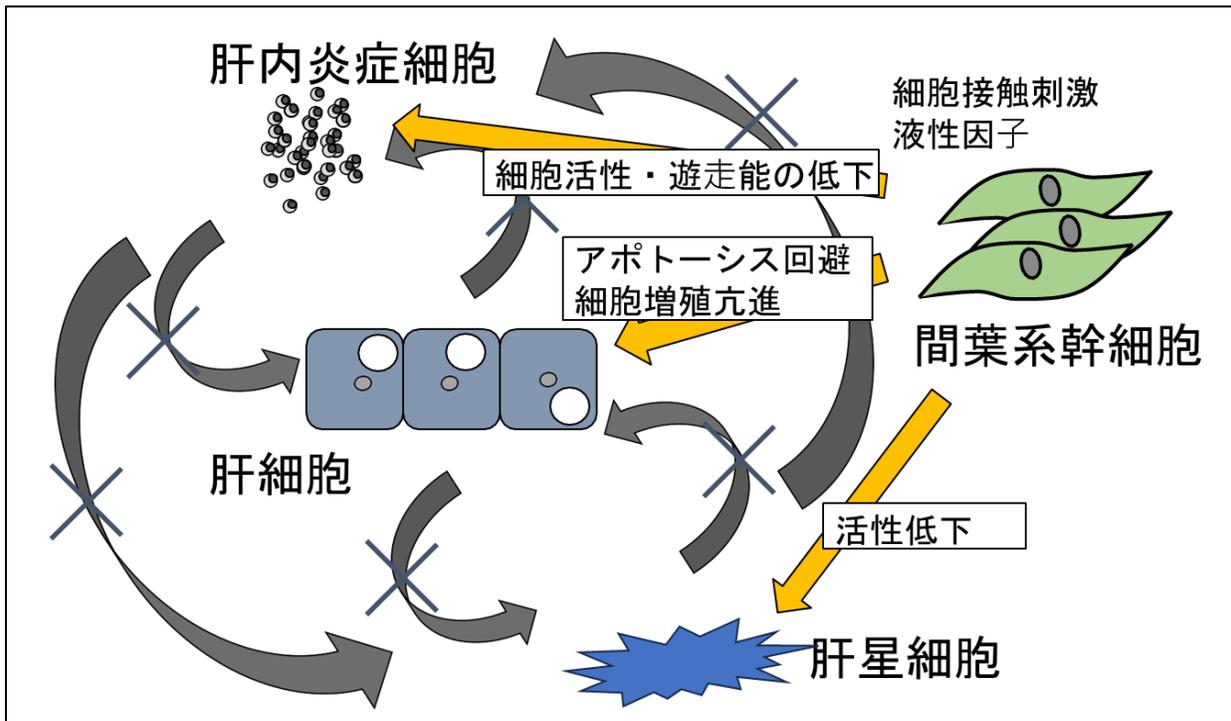


肝再生・新規医療開発グループ

- 当グループでは、肝疾患に対する再生医療の基礎的検討および消化器疾患に対する新規医療の開発に関する研究を行っています。
- 再生医療に関する研究では、これまでに間葉系幹細胞(MSC)を用いた代謝機能障害関連脂肪肝炎(MASH)に対する細胞治療の開発に取り組んできました。近年ではMSC投与による肝臓の局所環境への影響を介した肝修復再生機序の解明に取り組んでおり、本研究成果については、全国学会(小川憲彦ら、JDDW2024など)とともに、Stem Cell Research & Therapy 誌に論文報告を行いました。(Stem Cell Res Ther. 2025 Jul 6;16(1):349) 現在はさらに、肝移植以外に有効な治療法が確立されていない原発性硬化性胆管炎(PSC)など、難治性肝疾患に対する細胞治療の有効性についても検討を進めています。
- 一方、膵がんに対しては、若狭湾エネルギー研究センターなどと共同で、陽子線と免疫チェックポイント阻害薬(ICI)の併用による新規治療法の開発を目的とした基礎的検討を行っております。また、他にも、いくつかの企業と連携し、様々な消化器疾患に対する新たな治療法の開発にも取り組んでいます。これらの研究成果は、若手医師が学会で積極的に発表しており(里村康輔ら、JDDW2024)、今後さらなる発展が期待されます。

肝再生・新規医療開発グループ

MSC投与による肝臓の局所環境への影響を介した
肝修復再生機序の解明



ICIと陽子線の併用による膵癌に対する
新規治療開発と機序解明

